## 『照明』編



## 照明の部分消灯

○ 照明を部分消灯(ランプを灯具から直接抜く等)することで節電になります。(天井照明を50%部分消灯の場合)

## 試算例

10~20時の間, 照明の半分(50%)を消灯すると...

■節電効果: <u>節電効果 165万円/年</u> 【業務用電力単価を適用】

<u>節電電力</u> 約 23. OkW 節電電力量 約 84, 100kWh

■対策内容: 天井照明の50%消灯

■計算式: 節電電力(kW)=消費電力×部分消灯率

節電電力量(kWh)=節電電力×対象時間×対象日数

(試算条件)

消費電力:約46kW{(110W×2灯式×160台)+(32W×2灯式×170台)}

部分消灯率:50%

対象時間:10時間/日(10:00~20:00)

対象日数:365日/年

## ポイント

- ■蛍光灯を消灯すると室内の発熱量が減少するため、冷房負荷が 低減します。
- ■スタータ式では、ランプを外すと電流が増加し加熱する器具があるのでご注意下さい。ラピッドスタート式・インバータ式では、1本のみランプを外すと消灯したり、微放電するため2本とも外さなければならない器具があります。また外すのが好ましくない器具もありますのでご注意下さい。詳細はメーカーにご確認下さい。

